大農業立國

大連農事、東亞勒 業合併協議 業合併協議 業合併協議 業合併協議 業合併協議

七 運 賃 の 総に屈傭され軍需品のみ取扱 での差が非常に甚しい、一艘 をの差が非常に甚しい、一艘 での差が非常に甚しい、一艘 をの差が非常に甚しい、一艘 での船が航行可能期間八ヶ月中 での船が航行可能期間八ヶ月中

南京政府に賢付ける

六、輸送物資

影

の角運

新京金融經濟狀况

に於る

朝鮮銀行新京支店調查==

三等品正一分七九八入 一四等品並板三八八 へ

04.11 A-30

本民鐵定尺二寸厚二分 正鉛引平板並物三二番 1.50 正鉛引平板並物三二番 1.50

に付) 「一般変五〇斤入一袋」

材入荷数量(単位キロ)

組石石灰石(一坪) - 13、00 個栗石右同 115、00 個栗石右同 115、00 個栗石右同 115、00 個栗石右同 115、00 個栗石右同 115、00 円 115 の 115 の 115 の 115 の 115 の 115 の 115 の

「よしよし何温でも言ってやる

てくれる

看守が笑ひ作ら、

を聴取した

長、向坊東亜柳栗社長の説明業の合同問題につき谷川管理

ンとみるも手取り價

(木)日

料復 定本 全告 假証 持 普 完 加五

競行所

所 新京日日新聞社 一 河 荣 忠 七 河 荣 忠

本年度棉花的 獲豫想

苦力取締て

満州相名の前途終現 ,良好

は、「管口関型」管口に移住する 特に激増してあるので、朝鮮 人等側等の勢働組合を組織せ んとする気速濃厚となつたが 近く新設限定の精米所三個所 の勢働者を一丸とする勢働組 合が設立される事となり有志

る日本の需用増加等の好材料 暗書の技術的進步による綿質 は表の技術的進步による綿質 を表の技術的進步による綿質

九千六百萬斤に比し四割方の綿の總高に於ては昨年度實綿

世隻、乗客八千七百卅四名で 連船は百八隻、上陸人員は一 連船は百八隻、上陸人員は一 連船は百八隻、上陸人員は一 おるが上陸人員一萬二千三百一大の名が、之は苦力ズ國取締が影響してゐるものと云はれが影響してゐるものと云はれてゐる 營口入港者減少

るものである、新法令の項目 は大の如くである 一、商品取引令 一、原料品統制局設置令 一、原料品統制局設置令 一、原料品統制局設置令 一、原料品統制局設置令 一、原料品統制局設置令 一、原料品統制局設置令 上工業、農業等各部門が恋く二 上五個の中央管理局の監督下 に置かれること、なる、外調 に配定する結果、岩許可默を に限定する結果、岩許可默を では新制度により大規模の安 では新制度により大規模の安 では新制度により大規模の安 では新制度により大規模の安

專門

堂腦醫院 

米飛機製作會配が

優秀機廿二臺南京政府へ

性能は現米國軍用機で凌く



あつたが、事變以來就航船が 変に上り、現在はぐつと下つ で四、五十圓となつてゐる、 現在は殆んどないが契約洩れ の船を利用するならば澱河に 依る軍需品以外の日貨の輸送

度新規事業として經理部に提

大敗修を要する

(大連國通) 滿鐵地方部十年 豫算實現に大童

マラルドトリビューン紙の報道に依ればカリフオルニア州 一年の註文に應じ最純式融資機 一年の記文に應じ最純式融資機 一年の記文に應じ最純式融資機 一年の記文に應じ最純式融資機 一年の記文に應じ最純式融資機 一年のの理算を持つしたと、 を存っられる、右戦関機の外に を存っられる、右戦関機の外に で二千壁を類破出來ると云 と傳へられる、右戦関機の件 を表でと云はれるが米國 でフィースコップ でフィースコップ でフィースコップ でフィースコップ ででフィースコップ ででフィースコップ ででフィースコップ ででフィースコップ に変しているが、場回 でででフィースコップ に変しているが、場回 でででフィースコップ に変しているが、場回 でででフィースコップ に変しているの に変しているの に変しているが、 に変しているが、 に変しているの に変しているの に変している。 にないる。 にない。 にないる。 にないない。 にないない。 にないない。 にないない。 にないない。 にないない。 にないない。

日貿易の減退により現在危機 【ベルリン十二日愛國語】輸 別統制 斷行

全面的外國貿

は、 に直面するドイツ政府は思切のた外國貿易の統制を断行する事に決し、意々近く五個の新法令を公布すること」なったバーターシステムを基調としたもので外國為替父付を正したもので外國為替父付を正規輸入業者に限り強策部門全規輸入業者に限り強策部門全規輸入業者に限り強策部門全規輸入業者に限り強策部門全規を正面でする等所んど經済生活の

橋間の諸資料 仕機がないちゃないか――起き 写天下の魔士が、そのざまぢゃっ

男が突つかくつて行つた。

間竹を

一今なぐれ、

ぐりてく

河幅 10°00米 0°10米 10°00米 10°00米 10°00米 10°00米 10°00米 10°00米 りであるの諸狀況を略説すると左の通 の河川の路件 越えて最初の船漕場)まで 「概を持つて来い、酸るんだ。 「概を持つて来い、酸るんだ。 電楽と同時だった— 電楽と同時だった— 語るような響が。

昨年事變前は大休九十圓で復毎に更る

ではつきりと、直ぐには思ひ出せ、 が、何處でか以前に確かに見たは が、何處でか以前に確かに見たは が、何處でか以前に確かに見たは 甘く見ると承知し 電子は途既に暮れた けざまに叩きつけた。 か」る出鼻を、 館の形をしきりに類にして、下で

作ら、鼻を鳴らし ちれて、今里、おとなしく。 り 手に出た。 おとなしくしよう

日韓殿士水口が、猛然と自韓殿士水口が、猛然と での。 ないとつよ

その要額、急所を襲表!! 年男女諸君!! 全國學生

**対**競\_ (郵便局前) 高價買 茶と茶道具の

みどり茶園へ

電話三〇四七番

親世流 強教授 白 瀧 師 範 新 京 顕 世 會 八島通十一曜三七六二番 八島通十一曜三七六二番 電話三三四一番(呼出) 鈴鹿サク 析 尾 新聞 輔 翻 開 輔



専門家には、 の秘話、美談 佳 話等 の秘話、美談 佳 話等 の秘話、美談 佳 話等 になる名演物。 になる名演物。 華 画場はに てまり終・次目い白面の此 いさ 内田本井橋西 市 列義 三郎照茂郎首 者

李▲子供放送者の珍談 「久米」

土地、家屋、賃貸借 新京土地建物會社 新京土地建物會社

男女員多數御一報次第 東二條通り橋南渡る左 東二條通り橋南渡る左 東二條通り橋南渡る左

30

菅沼タイプライター 印書 歴 品 管沼タイプライター發質元 笹屋 商會 支店 新京永樂町一ノ九 一味

農

負にの名物桃太郎食堂の豚饅頭を始めましたからどうぞ御贔暑い間は一時休ませて頂いて居ましたが本日からお待象 遠近共出前迅速

古 野 電話三七八〇番 J 堂

0 0

す。体に安全に 城內東四馬路廿八 100 始めま 新京には 1 合待内 店本聖候 一个町明神公的

令 三井火災。BAt電五六六九番赤澤老

創業事務所 題話

ダイヤ街老松町丁字屋東入 午前十時ヨリ午後五時マデ

場 面會時間 所



職

最後の切れ 女八人母說時代日日 木澤大柳 下 林 双髓子子 附置川水 文螺歸絹吟 子江子子

港の彼女達= 中 しれえぞ、といって 天下の國土なんて 一言ひやがったな。 3 るんだ」 嘘の骨頭だ

おえぞ、姓名は何だつけな』 なれえぞ、姓名は何だつけな』 なれまで、姓名は何だつけな』 なればい 近日とさつきは言めておちゃあないか。一覧どちらしておやあないか。一覧どちらしておやあないか。一覧どちらし 檻いの し酸れ、酸れ、さあ 大下の國土を殿 節にはづかし

三理雄一

有護婦附添婦

目六霞五七〇五巻

「おし、がらなる がらだ」 なんだ」 なんだ。 大見得を切つて吹 てれは生質 ぬるなら既つてくれ

を旨く摑めなかつた かかれ

ら國士でいゝんだから ら、おとな ら、國土な

数は、然に破験り出して、足、 それはいかにも、芝居もどきになればいかにも、芝居もどきになった。 わざとらしかつた。 値は浪見 さが、危ふく君守を心

である。

が世話は東日

上来人 る家族的に御世話を 一下宿勤人の方に限 簡易宿泊所 

施家者で長格一、相當ノ貴カラ有スル人格者タル事 募集人員 相互組織二依ルタクシー營業創業二就キ運轉手ヲ墓集ス 轉 F Ŧi. 募 集

### 機構改革案意見一致 **殘る經費の支出ミ人選問題で** 不及 實施までに尚難關 を重ね

▼十四日の 定例閣議に諮り 正式に決革問題も 完全に意見の一致 を見たの 層相官邸に於る河田翰長、金森法制局長官、(東京國通)在滿機關の改革問題に關して十二日午後の

で作製された在滿機縛改革問 受け、個本陸軍次官に依つ

(東京國通) 廣田外相は十二

を新設し武官となすにも反 一統一問題に關し對案提出の方なし、また對滿事務局次長 なほ外務省は在滿警察機構のしめ得ることゝなずに異議 對せず

対であつたが十二日首臘部協 はの結果提出せぬに略々決定

河田翰長が説明の

政府案の趣旨

全權大使の奏請權の歸屬等

政府折衷案に對政府折衷案に對

拓務省

日を駆する問題だから今腹切る等は早まつた考へである、世の中は思ふ様に行かない、行かないからといって腹を切つてゐた日にはたったりない、今度の様な問題は

政府の意向を詳細観取したので在蔣機構改革に関するので在蔣機構改革に関するので在蔣機構改革に関する

李破、この心を永久に忘れる事變後銃後の献金二千萬圓を

なかれ

れるに當つても未だ仲々時

質ひたい

京高女が持つ最前線誇りの一

同様仲々止められるものでて了つた上は堤防潰れたと

西尾參謀長

生活権に關はるとはいへ感心勞働争議にも似たこの所作、

あらず

旅順の官邸で菱刈大將語る

新妥協案に對

外務省は反對せず

地に闘する新安協案を提示されたので、十三日中に外務省 を関節と協議の上重光次官よ り河田書記官長に對し回答されるこゝとなつたが、外務省

全権大使に闘する命令系

機関の改革に要する經費に開しては、第二強体化するため独制局で官制並にこれに附続する独規の調査電架に着手する筈で、現地側はこれが急速なる實現を査策に着手する筈で、現地側はこれが急速なる實現を表現の調査を はつて居るものと観測されてゐる情が伏在してゐるので、今回の改革案情が伏在してゐるので、今回の改革案 言明して居り、且つ愈々實現するとし備金支出を 絕對に拒否する 旨を屢々

で富てるは絶野反對で且つ を富てるは絶野反對で且つ 不可能だ、要するに陸軍側 不可能だ、要するに陸軍側 が全権大使や事務總長等の 用の心配である 吐く機會ある故官制上に機だが陸相宛てその意見 れざる場合あるを憂慮す 陸軍側を納得 治行政確立と大書した丈餘の対、外交官と内治行政官の分 白旗を中心に人員點呼を

鎖ります我が忠勇義烈なる官署員一同誰んで白玉山に 官署員一同誰んで白玉山に

「時期は未だ早」

10

自重して

し貫ひ

に邁進す

徹頭徹尾

とてこれが成否は實に帝國の 一在滿政治機構改革問題は帝國

各々氣勢を擧げ拓務省案絶体に昭和公園に、新市街は關東 をあげ、五分に 第一小學校講覧 旗士立つてな なる次心を語つ を振ひ九時過

省案を抵順開

長旗を押し立て白 ・ し立て白玉山へ ・ 二萬數千の英靈に告じ ・ 本こゝに到れる妖況と悲壯 ・ に冷酒をあふつて気勢 ・ 五分にして白玉山質 同は午後八時市 ・ 意に参集 ・ とを

表を提出して背水の陣を布く を主張し最後の手段として辞を主張し最後の手段として辞を主張し最後の手段として辞書を開催、預務業支持を主張し最後の手段として辞書を主張し最後の手段として辞書を主張し最後の手段として辞書を表を提出して背水の陣を布く

れ、直ちに関東艦警

その後の

クンラ

品製具革外其具馬

夏 阪 造 製

(地番人町松老) 街ヤイダ京新 (り通裏屋字丁) 炉番六炉通速浪天奉 店本 店中日千町日春天奉 店支

經過を報告

事となり機員約六百

至るや舊市街は民政署を中

千名の辭表を取纏め午後に在旅順關東廳に於て應員約

は在繭同胞の等しく支持するり、吾人の絶對に支持する朱朝子これを反駁すべきものなり、吾人の絶對に支持する朱

して一部勢力の制耐を受けた

的に折務案を支持したとのニ闘する政府妥協案を排撃全議

在漸機構改革に

旅順でも反對氣勢

なるを見て

安東警察署員も

脈順では十二日午前十一時よユースに接した關東廳所在地

ること或は合流し又は分治の

要官に於ても教等継負の意念 を付度し重大なる決意を掲し を付度し重大なる決意を掲し 大任に當る身、寸悪も私心名 るなし、たゞ現地にありて帝 るなし、たゞ現地にありて帝 の立り、吾人職を察じ行数の 別事平和の確立を顕ふものなり 東平和の確立を顕ふものなり 東平和の確立を顕ふものなり 東下和の強立を顕ふものなり ををあくまで支持す、在滿個 他はもとより嚴く天下の正論 たより目的の貫徹を期せんとす 右宣言す 昭和九年九月十二日 昭和九年九月十二日

(東京関連)在京中の関東職在東京開東縣 時から新京署會議室に集合し闘東艦員幹部は十三日午前九 情報を持ちより經過報告意察官並に應員大會後におけ 意見交換

本の十五日は新京神社秋季大祭同十八日は選出付き臨時休業は可此段離告候也 田に付き臨時休業は可此段離告候也

は満洲事變紀念

告

成行は注目されてゐる その 日 (

押し立て市中を練り歩き示威旅順関東應お膝元では長旗を

料を重ね中央部意見一致在講機構改革問題、月余の粉

至合語表面 

和子祭につき 地に成功の鍵を握れよ 地に成功の鍵を握れよ での生間 ででの生間

建築材料

引越荷物 運

トラツクの御用は

丸新運送店

電話 二八二階町四丁目 Ξ 六 七番 番

### 關東廳員の運動を 軍部、滿洲國、 般はごう見る

も近く解決されるものと思

れるから軍としては鬱觀

**在危惧されてもらっ** ますます銃 在危惧されてゐるやうなこ

分會長談四戶鄉軍

四 の結果政府安協案は全く拓務 地へぬ、あくまで初志の實際 に正々堂々努力するとの意見 に正々堂々努力するとの意見 に正々堂々努力するとの意見 に正々堂々努力するとの意見 を所表まり関目首相に政府案 の不合理性を陳述し、而も最 後的決意を包含する整理案を

装をして

秋祭奉礼舞踏會

五日は新京神社秋祭につき奉祀のため午後七時よりダンサーー同揃ひの仮来 東京 甚句 東京 甚句 東京 甚句 アラ 節

キヤピタルダンスホー

ル

屋開設

日常御住居ニ關スル

規として協定するは可能なで、首相、外相、陸相間に內

で領任さすとの

乎たる決意を示すが如きのだから何も宣言決議で

により全く其の主張を蹂躙さ

議を開催し政府試案を再檢討れた死務省は十二日首職者會

ンルが株

(土)日二廿 (土)日五十 延順天雨(日)日三十月九(日)日六十月九日催開 (祭)日四廿 (月)日七十

部樂俱馬賽京新機能
六〇五五三二三二所務事話電
香七〇五五場馬賽

首相の

再考を促さん

反

二第季秋

**未だ政府折衷案なるものが** 

總裁及ひ全権大使に隷

【東京関通】在滿機關改革間 た首相は會見後河田輸長と相 談をなし、林陸相の製取は誤 解に基く點ありとして右諸點 につき充分説明を行ふならば 陸軍側も政府案の越旨を認め るだらうといふので河田輸長 は午后一時橋本次官を官邸に

一、全権大使の奏請権の勝馬 及び武官衆任の別記につい ては右権限が假令外務省に ありとしても奏請の際には 首相と協議して決するもの 首相と協議して決するもの を対象を主張し得るもの

である
である
して文官親任とする點を原則と
して文官親任とする點を原則と
上より當分武官を就任せし
上より當分武官を就任せし
とより當分武官を就任せし

生活に立脚するのが 根本的間違ひ

日本人が余りに興奮するな

關東軍側の意嚮

常な決意を明示するところが き拓務案絶對支持を決職、異 き拓務案絶對支持を決職、異

公正安富であるかといふ! め見地から如何なる機構が のであつて、要は國家 分に生活の安 ある、闘東塵嶼の 主張は

中に身を投じたため烽火は今す地の脳東應關係職員が突加渦回 日系満洲國大官の綜合意見

であるが同問題に動する 脳日系大官方面の 意向を總合

醜悪な内紛は 日も早く解決せよ と語つてゐる。

55、日満郵便條約が締結 関されるやらな事はないだ 関されるやらな事はないだ 関されるやらな事はないだ 関されるやらな事はないだ

國の眼前で在滿日本官吏が現ない、現地において満洲はない、現地において満洲

東中堅將校は尖銳化した陽東 車部側では酒吞み友鑵に先 に酔はれてしまつてい(ら といった様な状態だ

持してゐるもかゝる醜悪なきはめて沈默靜觀の態度をきなめて沈默靜觀の態度を ないところで補洲人に與る官吏の等しく心外にた のがあると思はれる、

られしてもお互ひに言分は 多分にあるのであるから結 局は折衷案でけりがつくも てほしいものである。どちる内粉は一日も早く解決し 而も外交關係からいつて最 が新聞などに大書報導され が新聞などに大書報導され

拓務改組案

家具建具窓棚

宅 模 樣

焚事場煖

園風呂

**逾設修新** 

> 速叮嚀を御用命ニ應ジ ハ何デモ大小二拘ラズ迅

7

左管大工苦力學工

話電

三七〇四番

ラー教 直部 調度シニ中 と領マ 調込 マ馬ス 何次 ス島、七第

~三七〇五番

本昨日日

政府部内に擡頭ー

るがら命令系統が何れになって定められてゐるのであ る日系官更は勿論海外に て定められてゐるのであれ、本の滿洲國に對する施政 二日午後五時行はれた在新京 三日午後五時行はれた在新京 三日午後五時行はれた在新京 きな波紋を投げてゐるが、右 につき四月在郷軍人新京分會 長は語る 今日私共は恒例の水龗會を 今日私共は恒例の水龗會を が今週に限

の人妻! は中央に一切委せてその」 はかりです、私共!! はかりです、私共!! なかったら又更に改革すれ がいと考へてゐます、電 かいを考へてゐます、電

ない。 によつて差當つて関類になら によつて差當つて関類になら によって差當つて関類になら 方策としては政府部内では次 動の起る場合は拓務大臣は 種由は外地米統制の知き間 種由は外地米統制の知き間

越其他

人和洋行

者希望者は直接本人来談あれ 市内に確實なる保證人を要する

是是**大**查斯斯

新京百貨店吳服部

保護使以下神職社務所より(所要時間約五十分)

世 次の三十二日から漸鐵線新京 本刑事が富士町二丁目美久仁 大屯間の列車磅着時刻が一部 湯附近を密行中撃動不審の朝 大屯間の列車磅着時刻が一部 湯附近を密行中撃動不審の朝 一十時四十五分通過、南新京午 たレインコートを脱ぎ入質せ 前六時四十五分通過、南新京午 たレインコートを脱ぎ入質せ 前六時四十五分通過、南新京午 たレインコートを脱ぎ入質せ 前十時四十分着)大屯午前 金鳳勳(二六)で同人は去月 十時愛、孟家屯午前十時十 一十日安東を出發し奉天に立 九分殺、南新京午前十時十 一三十日安東を出發し奉天に立 九分殺、南新京午前十時一 一十日安東を出發し奉天に立 カク殺、南新京午前十時一 一十日安東を出發し奉天に立 カク殺、南新京午前十時一 一十日安東を出發し奉天に立 カク殺、南新京午前十時一 一十日安東を出發し奉天に立 カク殺、南新京午前十時一 一十日安東を出發し奉天に立 カク殺、南新京午前十時一 一十日安東を出致したが所持金

運使、神職、参列員一同を蔵所にて御幣物、神饌、供

十七分愛、新京着午前十

左湯で入り永樂町三丁目永樂 | ちより八日來京したが所持金

供建使を出迎ふ

参進鳥居内にて一同御幣物

大樂起る開扉、献饌、樂止

本第十九列軍(新京午後四時八四十分讀、孟家屯午後四時八四分發、南新京午後四時二十四分發、南新京午後四時二十四分發、新京着午後四時三十分證、新京着午後四時三十五分

早害豫想外に激甚

一億圓を突破

唐組合の方ではカフェーで親 がださらである、すると飲食 んださらである、すると飲食

S

農林省調査の九州四國の損害

雄使祝詞奏上、供

員玉串路奠

右はいづれ**も五分間** 

つれる五分間づく繰上

板の間稼ぎに

「東京関通」九州、四國を中 心とする旱害は鞭想外に激甚 であるが農林省調査によれば であるが農林省

第九千町 歩に達する有線であ 、 收穫皆無の面積も二 ・

客に出す飲食物にハッキリしあれはどうなりますと反駁す

た制限といふものがあるので

帝の御主催により殲國務總理一新京孔子廟の仲秋上丁祭は皇

から同廟で肚嚴に祭典を**奉行** 恭代のもとに十三日午前七時

され、九時式を終つたが政府 が孔子祭の復舊に力をそゝい でゐる折柄とて政府の要人は 勿論その他一般の参拜も多數 あり今秋は建國以來かつてな

大迫倘道大將

思はれない、

子丼なんか出す家があるが、

午後八時ごろ朔京署谷 ハ感の勝関

ようこそ御雨

日満要人の盛大な出迎を受け

日着京

ものだ、しかしながら同僚 れた様だが東歐ロカルノ條 約等佛國は歐洲の平和確保 の手段として居るのは勿論 が、それよりもこれはソ だが、それよりもこれはソ が、それよりもこれはソ

**追に大和ホテル** 

大静職祭典開始の旨を使に大阪内階下所定に着席

樂起

破場へ参集

列車の發着時刻一部改正

九月十四日午後六時一同(所要時間約四十分)

### 京神祖 **神輿出御は十五日午前十時** の宵宮祭

### 大神廳を神輿に移し**率る** 大神廳を神輿に移し**率る** 本年は 神興出御祭 (午前十時)

新家神社秋季大祭にいよいよ 毎町内ともそれぞれ準備に怠 りない、率納の催しものは例 を通り相撲、撃剣、弓術、生 を通り相撲、撃剣、弓術、生 式大第は左の通りである なつてゐるが當日は神社境內 **せることであらう、大祭の人々で本年は一層の賑ひを** 當日は參詣 大出御 氏子總代五名絹垣率仕

後の御行列御物等を辨備待此の前に御神行係に於て前 ち率る 御道筋別紙の通り 御旅所祭

一、同神興前に参列

献饌、親詞奏上、玉串奉奠、一、十五日午後十時一同參列一、介要時間約二十五分)

仕前の如し 神悪を殿内へ移し率る絹垣率

直會 **舰**詞奏上、一同拜禮退

場、南、蘇(

て藤大に大會を終へた全國旅十二日新京高等女學校におい

では聯合艦隊大連入港を機會 二十二日出發

醫に謝孫はれて内地へ歸還しで奉天衛戍病院の遠藤一等軍三十分競列軍

南嶺淨水地で

地鎮祭執行

張つた

寄

附市内錦町錦ピル主

到を寄附した 対季運動會の費用として金一 対率運動會の費用として金一

審議會

爵位剝奪處分か

土方伯私行

畑中憲兵軍曹以下十九名は十新京衛戍病院に入院加寮中の

地へ凱旋する地へ凱旋する

記者、販賣店主等十余名を帮日午後七時扇芳亭に市内新聞

新京工場完成披露宴を販賣店主等十余名を招

れてゆき、飲ませたり食はせ を裏があると思ふのは可湿ひ

連製氷社長佐藤至誠氏は十二ライオン印ナイダー製造元大

| 敬美日日||する、さらして

2

96

午後三時二十分膏

列案内狀を出

各方面へ参

角目だつて事ふこ

源しくなって来て

酒の味の5

△同午

訪問

第〇〇

至滅氏

披露宴

國都建設 狀况視察

□日 別 佐 故陸 慢特 田中組田中廣吉氏は國 郡建設 日 別 佐 故陸 慢特 田中組田中廣吉氏は図 郡建設 田中組田中廣吉氏は図 郡建設

|還 御 祭 | に喰はぬ風を装ふてゐたもの 林憩約三十分 | を窃取し、その塲で清變へ何 を窃取し、その塲で清變へ何

層賑ほう

旅館組合員一行 三時から阮局長招待の闊遊會建設の實况展響、説明をうけ一建設の實况展響、説明をうけ一 に臨んだ

大連見學 満鐵婦人の

に大連見學園を組織すること 「なったが定員八十名會設二 関位の見込で旅程は左の通り で保線區前に集合、第十四 列車で新京設

▲二十四日 · 朝食後自由行助 體拜觀〉社員宿泊所一泊 體和, 社員宿泊所一泊 午後三時大連驛前集合、

本社後後、新京体育聯盟主催 たいよいよ來る十六日(日)年 前九時から西公園コートで起 に北に先だち全参加チームの 全新京秋季庭球リーグ戦は に対することになつたが を持つせすることになったが を対すせすることになったが は新京日日新聞社への他種々 は新京日日新聞社へ は新京日日新聞社へ なるされ

飲食店の縄張り等

飲食店で洋酒、洋食を賣るな

じやカフェーで丼を賣るな

サテ軍配はごう?

ないから、話は有耶無耶に終

つてしまつたらしい、お互に

に一き陸軍省の調査によれば、慰 十八日で三年を迎へることに かったが銃後の移援狀况につ 二千萬突破 の熱誠

●茲に更生一切の改善を加へると共に東

亦厚く御禮申上げます

る優雅高尙なるホー

ルが出來ました是

京、中京、大阪より多數美人が参り嶄新

明朗なるサービスを以て奉仕いたしま

變三周:

表南洋こ

國際無電 0

午前十時床次遞相よりフィリの國際無線電話は來る廿六日の國際無線電話は來る廿六日の國際無線電話は來る廿六日

**ツセージによつて開始されるツビン、ジャワ兩總督へのメ** 

景氣になると些細なことでも 知つて知らぬよりで過すが不 知って知らぬよりで過すが不 庭球 あ す主將會議 組合せ其他を決定 では、 である。 で多分的位を の私行に闘する宗教寮の審議 で多分的位を 別されるので多分的位を 別臨分と で多分的位を 別に関する宗教寮の審議

> 年の陋習に 實業部權度局に於て

常時の約十倍に達し國民の熱一千萬圓、飛行機獻約數百十九臺約八百萬圓之を合すると一千萬圓を突破し、日露戰爭一千萬圓を突破し、日露戰爭 識を物酔つてゐる

及新制器物(尺斤法ンの製作は正式に日本器物(尺貫法) **電大使命に向つて邁進すべく** 販賣並に修繕の業を開始し、 場を設置し專ら內部整備を了决し大連、率天に支店並に工 工業者の買收問題も関滿に解 し愈よ大連奉天兩工場に於て 東州及蹣鑁附屬地に於る既設

華々しくスタートを切つた 遷安の虐殺事件 朝鮮人協議

つたが、十二日午後五時かつを合善後措置を協議中で

事となった

件被告小林利平は死刑求刑さ 「東京國通」第二バラバラ事 山口街朝鮮人會館に協議會 表者多数出席の筈である

建國以來の盛况!

滿洲國

要人の參拜相次ぐ

きのふ逝去

て本年五月一日満洲計器股份の正確、價格の低廉なるもの 行せしめ、器物の統一、計量理及輸入販賣一切の業務を代と、特定會社をして新制の度く、特定會社をして新制の度

有限公司を設立、同公司は關

度量衡を打破すべたる複雑煩瑣極り

部大臣主催晩餐會(ヤマト 希嘉あらば謁見方手配のこれ日午前、自由行動へ一行 况融祭 (関

△同午後三時三十分、榮中央 催晩餐館(大使官邸)へ 銀行總裁主催茶會〈總数邸〉

滿洲計器公司

B 話

吉澤總領事以下出迎へ車より 大橋次長、岩佐無兵司令官、 大橋次長、岩佐無兵司令官、 大橋次長、岩佐無兵司令官、 大橋次長、岩佐無兵司令官、 大橋次長、岩佐無兵司令官、 大橋次長、岩佐無兵司令官、 大橋のよりは守屋参事官、 大橋のよりは安屋の本人臣 は

な額で寫眞班のフラッシュの 中に入り直ちにヤマトホテル に於る大使舘員との會食に向 つたへ寫眞は右から出迎えの 音澤總領事、竇藤駐米大使、

とは日本に任せるのが實情見はないやうだ、極東のこ為別國を承認等の積極的意

アメリカは我々が考へるや

へを持つてるのじやない、

大使館主催

大長主催のテ

処理主催の晩

スは今のところ別に

なきを得東方に主力を注い で居る如くソ聯が西方憂ひ

た佐藤、齋藤

一成立二見したとして

くその成長を ふ、競展途上に 一立場

七等を以て待遇せられる

米國記者團一行

滯京中日程 沿 一行三十

木飯の五氏は十二日附高等官高等女學校教論森下直記、鈴高等女學校教論森下直記、鈴

五教論高等官に

て居る妖態だ

降り立つた兩大使は

極東の事は

日本に任せろ」

来ないと思ふ、ソヴェート 一大ないと思ふ、ソヴェート

ない。 動向に對しては安心を覺え で居る、將來の問題として は門戶開放機會均等の望め を望んで居るだけだ、ソ聯

て滿洲國を列國の

兩大使車中談

ノッ氏個人の外変手腕の巧

本十四日午前國都建設状党網 本十四日午前國都建設状党網 三年ハルビンへ(飛機で) 本十五日ハルビンへ(飛機で) 本十五日ハルビンより開来へ 飛行機にて) 本十六零日天より北美へ

と雑談の中に交へて左の如く

開

カフヱー

八十一、同大將は砲術家とし

二日午後四時逝去した、享年られてゐた大迫尙道大將は十

日 ●何卒倍舊の御愛顧を伏して

御願申上ます

階

引 受

新京東二條通十一番地

電話 階上五七二五番



●客月不慮失火の際は皆様より格別の御

爾來松浦組に委囑して更新改築中の處

世話樣に預り難有御禮申上ます

援助とに因り最短時日を以て從前に勝

同組の熱誠なる努力と皆樣絕大なる御

その間一年製命に仕事をして、お

近の行行的になって野激であ

ルグリー

ス

話

四

六

建築用油

降泰公司商事

25000

したやうで御座

油

油

十間は限を辿め

といふわけちゃねん、

お前の思ふ面りになると、だが、

温州文

油

油

新京吉野町一丁目二番地

他は小朝お田が振るしたと同

津

二意志

中層つ味の散れる低り

「そりや阿よりですともさ。おと思ふんだが、どうだらう?」

日本で一つと云はれる方のおを料

「今日から触は仕事をはじめる

い、 先生 よ定のし喜んでお受にな

わたしまどんなに難しいか知れなくさんがその気になって下されば

それからけ

一場語を属って、小石川

西七赤の人 運氣住長にして 一内と辛と努力す

日の競展を呈す 日と丁と庚が吉 日と丁と庚が吉

●九紫の人 人の母

かはの領まで來たが

東兵断はそれから八石衛門にも

●五黄の人 諸事慎重なれば 対果自ら現はれ來る良好日 でした辛と丑が吉

升天の時を待つべし へ 龍の深淵に潛む

「質は能も今考へたんだがし

東兵衛は感激に面を晴れがまし

高桑義生

れから古賀先生のお屋敷へ行つて

庚と癸と丑が吉

・二黒の・

お前の事をまた時

お聞心にその先生に選上たらどう

大門を出た。

では、 本に接すれば援助多大なり では、 本に接すれば援助多大なり 旨とせば天惠自ら加りて吉二黒の人 萬事退守するを

時質計,用

瑞二西

●四線の人 養理合より無理 要る日迷はず本薬を守べし 甲と乙と寅が吉

美術看板 ンキ

anning management







カフエー 料

電話乙三〇五番

洗張染物の 新京東五條通十 電五三七九番 御用命は

外職內 交工地 奉 增招優 員聘秀 A クリ 19 ーニング 洗

ムラン洗染て 平場

機ク超リロ 械丨最 設一新 置グ式 - San

及小口貨 取一條

和洋行

掛せ致シマス

日間 地震 野 大 澤 野 所 下

門司。神戸(大阪行) ※印二三等船客設備船 ※印二三等船客設備船 ※印二三等船客設備船 ※印置等船客設備船 ※印置等船客設備船 がんえ、九月十六日 がらる丸、九月十六日 がらる丸、九月十六日 を選来利加丸、九月十六日 を選来利加丸、九月十六日 を選来利加丸、九月十六日 である丸、九月十六日

電話賣買電話賣買

商品擔保貸付

(倉庫完備)

設 三王 高價買入

が京三笠町三人 田

泌尿生殖器科

肛

花

皮膚科

新京入船町四丁目(東三條權者體)

土地家屋賣知 電吉ス 話野 =  $\mu_{J}$ Ŧî. 三五 三丁 番目

なまくら武士の腰に善されるより

まだしも残者に思されるがか有韓

いつい

と仕事場へ

「おは」



市内 運搬は一直扱の運搬は一

丸正運送店 類京三笠町四ノ五

新京代理店 和洋行 電話三八七八番へ!!

取扱懇切の保験は信用厚く

申込は

小野田セメント 電 土工用具 整

テツ 機械

防水 ペシに及塗料 村

會社 大信洋行新京支店

新京日本橋通り七八番地

销

生陶器

電話 (三五三) 番

御好評で御座います要 するにうまい! とない



目

に召め ふ點が最も皆様のお気

113

コ

15

有り

的,这种是这个,我们是这个有一个,我们是这一个,我们是这一个一个,我们是这一个,我们是这一个,我们是这一个,我们是这一个,我们是这一个,我们是这一个,我们是这一个,我们是这一个,我们是这一个,我们是这一个,我们是 薬 治療 電話五三一三

新京署員重ね

山署長の手元に提出すると共に最悪の場合を考慮し、同日午後までに高山署長案が採擇されぬ場合はこぞつて職を賭すことにし誓文を作製し全署員連名で高は十三日午後一時から同署樓上に集合重ねて拓務案絕對支持の決議をなし、同越なる宣言決議を行ひ拓務案絕對支持に決したが、更に新京署巡査三百二十名在滿機構改革問題につき在新京關東廳員並に新京署警察官大會は旣報の如く激

長の手元に全員の辭表が提出された模様である山署長の手元に提出すると共に最悪の場合を考慮し、

京

十四日午前十時から旅順にお にで開催される関東原各川部 に参列の新京警察 がで開催される関東原各川部 に参列の新京警察

固き握手を変しい

**陰援に送られ** 

十分設急行で見送りの署員と査の五名は十三日午後四時三

で前年り一割七分七厘の八二、二八一、五五〇グラ

|三十八石で、前年同期より四の減 | 印在高は二千五百十七萬六百ラム | 一日現在日本内地に於る米数

四百穀

送ら

新京署五名

野盟加入招請修正案文は危處 の理事會分科委員會か特に慣 の理事會分科委員會か特に慣 の理事會分科委員會か特に慣

たとさへ云はれてゐる、此の

約一個月に亘り現地視察を行 機の産業関係者の専門や術者 の産業関係者の専門や術者

し 比極の計費を考究中である が試みで他線地方に對しても が試みで他線地方に對しても が試みで他線地方に對しても

各員長の

憤慨

イノフ氏は加入問題の情勢にび、右案文を手にしたリトヴ長リトヴィノフ氏の微怒を買

R

反對

名

題だけに恐らく簡単に片付く 戦道に驚いた帰盟側では直ち 対策を協議中だが、問題が問 が問題が問題がは直ち

赤色テロ

戦慄すべき計畵暴露せ

な取調へ進む

辭表提出

山新京

石川巡查、

警務局長宛送付の渾ひとない。 で決し午後三時全部を取纏め に決し午後三時全部を取纏め で決し午後三時全部を取纏め

迷惑をかけず寸毫も不安を署員は一層緊張してその職職務を怠るものでない、全

起憂して動く事は慎むべきだ

菱刈長官車中談

体を認識して別ないのではないかとも思はれる、要は行政機構が形を變へるだけであつて各自の身分については些かも變化はないのだけならぬ、世の中の事まればならぬ、世の中の手まればならぬ、世の中の事まればならぬ、世の中の事まればならぬ、世の中の事まればならぬ、世の中の事まれば方面に於けるソ聯赤軍は今や全日本のとも言へる、國境方面に於けるソ聯赤軍は今や全日本のとな滅に表しい事だ。

調べ中であるが 捕ハルピンこ<sup>198</sup>

とした赤露の吟楽に満り東部開

し國家的立場に立つて色々

新規。

0

査定に

日の身分は變ら

改革

後

藤森大佐

五

日出發

農林省發表 夏秋蠶掃立豫想

で此の問題に就き發表さる、此の問題に就き發表された文案を見ると最大級の形容詞を使つてゐるのであまりに鋭どすぎるのみならまりに鋭どすぎるのみなら

三七九、四五二貫で前踵收繭高は總数量では

誓文を作成辭表を署長に託す

持决

朝 設行

頁八共刊夕紙本 Di

開報行

金告 價紙 行力力

吉河商留 板巾

中中极

東京へ

內府內多處長

PH ## 12 444

新京日日新聞社 新京日日新聞社 松本 勇 荣 忠

高は三百三、四十萬石だらうるはかい見込み故民間米の持越高は千六百八十萬石になる、尚政府米は今千三百になる、尚政府米は今千三百になる、尚政府米は今千三百になる、尚政府米は今千三百になる、尚政府米は今年 藤、佐藤兩大使

十時半林出駐満大使館書記官藤、齋藤兩大使は十三日午前藤、齋藤兩大使は十三日午前 謁見

皇帝に

皇帝 情報に依ればソ騒勢力の新疆と 一擧ぐれば新疆

(強かざる新情報

陛下に謁見を賜つた

る機構改革

| 東京國通] 健康を害し殺て 対大使の後任は現トルコ大使 が意を表明してゐた永卉ドイ が意を表明してゐた永卉ドイ は毎日書も夕

を操つて ソ聯傀儡 者に於る仲服 する事により あるが、ソ脚 めの取退が稍 の取退が稍

てゐた縣世才がy 相々確定した近時 脚勢力の確立英語 地域力したもので

**獨大使後任** 新京名物野 同紹介

吉野町四丁目 居る野鶏胡同 居る野鶏胡同

瞬間対のもとに策動中である の地位を獲得せんものとソ 大道、日下彰は新観省政府首 の地位を獲得せんものとソ 時 儡の登場を企岡レソ聯に留學 で の事件が起つてゐる、玆に於 で の事件が起つてゐる、玆に於

うゆぢんま月風

東邊道匪賊討伐

等地下室廳 下水池下水池下水潭 下水池下水池下水池下水池下水池下水池下水池下水池下水池下水池下水潭 大、邸宅內增房倉庫等處掃除之 大、邸宅內增房倉庫等處掃除之 大。慶齐其其外之處務必搬布 大、應不其其外之酸粉須納於 容器不使散風堆植於相當的 公內,與不其其外之酸粉須納於 本學「大學」, 一次,與不其其外之酸粉須納於 一次,與不其其外之酸粉須納於

現 南平山の合流胆約百名は鴻鐵 南平山の合流胆約百名は鴻鐵本線に追 がい死し、又も 匪勢を盛り返 がい死し、又も 匪勢を盛り返 南平山の合流胆約百名は鴻鐵 棚最り争ひい一方は準潤や洋 食を要るなといへば、他方は 親子丼を出す家がカフェーに もあると反駁する▼軍配はい

は、こんなことに兄弟喧嘩なく、こんなことに兄弟喧嘩などは實にみつともない▼ためいったの」といつてもその原因にいるいったのはから以場合もある▼前者なら同情すべきものはあるが、別店さべずれば、お客が幾らでも來やすれば、お客が幾らでも來やすれば、お客が幾らでも來やすれば、お客が幾らでも來やすれば、お客が幾らでも來やすれば、お客が幾らでも來やなど思ふのは余りに虫がよく、そんな店はどんどんととといった。

會ヲ得度意ヲ表スル爲左記ニ依リ園遊會ヲ開催致度候から艦隊將士新京來訪ヲ機トシ同將士答位ニ

候ニ付番テ御る

廣

五二、中达期限 實所時

長長事

等ot=≤量 配 月 風 庫してゆくのは自然の理である ▼けふは新京神社の宿宮祭本年は事變後滿三年を郷で、大祭も一層賑かに迎えることの出來るのは氏子一同の大きな喜ひである

本 馬渡院氏(會計檢査院)十二日午額十一時三十分發率 下へ 一世子級一時五十五分着 一十二日午後一時五十五分着 大連から 本 木塚泰次一等計手へ哈市衛 戊病院傷病兵)以下十三名 一十二日午後三時二十五分高 一十二日午後三時二十五分高 新京警察書告示第九號 を管内民住者へ左ノ標準ニ據リー、施行日へ電子大月 日本 一、施行日へ電子大月 明明可受力/次月 東田ヲ具シ當署アク/次月 本子 (本) を 一、施行日へ電子 (本) を 一、施行日へ (本) を 一、本) を ー、本) を 一、本) を ー、本) を

本線察。際東方に現れたので本線察。際東方に出動では、この結果、一等兵佐々木常已同小田島、 質三、同佐々木忠殿の諸氏は 重要傷を負つた、又九月八日 類質・備隊より〇〇〇方面討 伐の先遣隊として西安縣二道 別子に出動した〇〇名は双頂 山附近で登山好牌と交職、此 結果源山忠太郎一等兵は上膊

....

干头

澤川原崎木 郎計百郎章

清主萬廣

吉是大石荒

四し日本人にして技術優秀の方に限る詳細而談中常ガラス。部の擔當者を求む

意

经濟事情內報 段彭先身元調費

取調べを受けた、同氏の偽! 證は明白となった三日午前九時六度檢事局に召 六度召喚取調を受く

前 の事 きの 鐵 實は明白

本会は

公布の日より之を施行

の物件を投擲したると 列車に向て瓦石類其の したるとき

総局が専門家 総局が専門家 (大連國通) 銭路總局では熟 一 (大連國通) 銭路總局では熟 一 (大連國通) 銭路總局では熟 一 (大連國通) 成を機に熱河線完

第三十九條 旅客又は公衆左の各號の一に該當するときは三十風以下の罰金に處すして東内、驛共の他鐵地内に於て寄附を請ひ強地内に於て寄附を請ひ物品の購買を求め、物品を配付し又は演說勸誘をを配付し又は演說勸誘をを配付して、列車に向て瓦石類共の

(日

整中艦長に榮轉した前駐補派 中部多謀長藤森大佐は十五日 中前九時新京渡で赴任するこ とになつた

ない。 を提出することに決したが を提出することに決したが を提出することに決したが

□ 日現在の夏秋鷺の掃立豫想は 田八、三七九、四五二貫で前る 年より三分三厘減、總價格で 表は一一七、三一〇、九六五剛 で六割一分減である、九月一

一分滅である、九月一つ分滅である、九月一

(東京関通) 農林省協表力 と需給推算 と需給推算

九月一日より十月末日までの慰七分増加である、此現在高

つてゐるソ聯邦外務人民委員でれた通りフランスのサヴオ

と観られてゐる

【東京國通】 海軍では新規要で左の方針で復活要求かせる で左の方針で復活要求をする と强硬態度に出でて居る

林省设表九月

の徒賃危

又は車内に携帶したる

道營業法制定

大年度豫第の費途をみるもれ年度豫第の費途をみるも外國へ出るものは重油購入費部は國内を肥し居る故赤字公債を相當增加錢行するも財政の基礎を危殆ならしむることなし

理料高滿日

ランプラー

番八二四五話館

共產黨指導 堅黨員 的

大更迭斷行

▲全國旅館組合聯合大會出席 著百六十五名十四日午前八 時三十分發哈市へ十五日午 後三時二十五分歸京同日午 後十時發南行豫定 後十時發南行豫定 一個日午前六時二十分發南行 發定(西村旅館投宿中)

月月日日 氣 氣南西の風景後睛 中鏡五時五十三 茂四十二五谷

本準備成り満洲國より人物考査委員として川人民政部特務哲長が派遣され内務省と協力採用を決定する事になつた同民は丸野、小山兩屬官を帶同氏は丸野、小山兩屬官を帶同時四十四日午後四時半新京競渡日

不部線穆稜鐵道了

列車率天發午後四時三

· 人時五十分、上り 一種八時、新京濟大 東下り第十五列車 (吉林國通)昨年六月以來國 造局に於て銳意工事中の新京 古林間百十キロの國道工事は 大体八月末完了の豫定であつ たが今夏季の大豪雨に祟られ たが今夏季の大豪雨に祟られ で、

務省より

中學校長一行

滯京日程

優秀警察官を招聘 人民政部特務科長けふ渡日 を闘つてゐるが十月中旬より 下旬にかけて完了の見込みで 路總局經營にかゝるバスが一 野金は四圓乃至三圓程度と見 考査の日程は左の

本九月廿一日 金澤に於て警察官及ひ憲兵老査 経官及ひ憲兵老査 本月 廿三日 名古屋に於て警察官及ひ憲兵老査 本月 十三日 名古屋に於て警察官及ひ憲兵及ひ第七郎 管下警士考査 本十月 二日 青森に於て警察官憲兵及ひ第七郎國 管下警士考査(秋田、盛岡、青森) 大子童(秋田、盛岡、青森) 本一、二日 新鏡田に於て警士(高田、新鏡田、於て警察官憲兵及ひ等士(福島 を受害、人の際士(福島・一、二日 東京に於て警士(高田、新鏡田、於て警士(日 新鏡田に於て警士(日本) 大子童、大月、松本)考査 分案京するが**滯京中の日**程は 全國中學校長視察園一行はい よいよ十九日午後一時五十日全國中學校長視察團一行はい 左の通りである 決る 二男雅量君が去る十日同校寄の重傷を負はした新京商業の重傷を負はした新京商業のの重傷を負はした新京商業のの重傷を負はした新京商業のの重傷を負した新京商業ののでは、

被害者の父兄から

事件の眞相を

で徹底的調査するの大活動を開始し

ある、この機會に断然解風を加へてゐたことは事實で 級生に對し 威る程度の制裁

目種業營

食料品雜貨

和洋酒罐詰類

世帶道具一式

用官達廳

三

四、五年生一行は十三日午後なほ射撃演習のため旅行中の

六時五十五分歸着した

等一行等一行

視察に渡日

迷

新京署司法係上

八活動を開始

京發午後十時、大連着

後四時二十分

一時三十分一軍司令官 から來京し、同夕刻新京商栗野嘉代治氏は十三日ヘルゼン

この際徹底的に調査のうへ、水たこと明白となつたので、水たこと明白となつたので、

加害者に對

へこの

際

つてゐる に同校の惡風を一掃

分省長並に白濱總務處長、

直ちに 取調に 美

有手

色丕勒氏、額東分省長、凌北係を促進するため長官齊默特限安總署では日滿兩國親等關

診

日頃しとやかなカフェー世界の女給軍 あられもなく野球ユニホームで…

、正午—女教部大臣招宴一、午後一時卅分—同三時講演、鄉國務總理、岡村參謀副長、鈴木軍政部顧問)新副長、鈴木軍政部顧問)新 在まで取調べの結果は従来或の特別でも現場者の撤底的處分を要求したが、學校側でも現 學校を訪れ赤塚教頭と會見し

代つて赤塚教頭は語る

りしないがので取調べ

山、京城、各地を頑察するは大阪、宮島、長崎、雲仙、釜

行は來る十月一日新京發門司

頭

3

観察を行ふことになつた、一 になった、一 になった、可能がある。 になった、可能がある。 になれず、 のでは、 のでは、 のでは、 のが、 のが、 のがのでする。 のでは、 の

のため不通となつた 道は數日來の豪雨で附近の河川氾濫

昨年十一月十九日創立され 圏体聯盟に加盟 女子青年會婦人

豪雨で不通

景動學廣女ンラ場校町か寫 五場校場、グン全運小ら眞 年全運小西三ニ景動學室上 を確めたに、 であるが、 であるが、 であるが、 底的に 取調べの結果ははつき 外演習に出かけてゐる 外演習に出かけてゐる 取調べその結果によ

るが、本人は十一日ま で 殴られたといふの 経電動會當日上級生か **双事實はあるらしいの** 数生に對する 或る程度 での取調べによる 出席してゐる事實 憾に思つてゐる、

利服

五男楽十さん八日出生さん四日出生

T一日の沿線 主任者 會議で 連着午後一時三十分、朱寒天發午前七時三十分、大 列車發着時典 新京、 車大連設午 音林間 なる新京驛 來の鮮魚、蔬菜類は午前六茶の鮮魚、蔬菜類は午前六人後 △下り第三百一貨物列車入船 品輸送貨物列車 入船、新京間急送 の國道 城驛と改稱すること」なつた 「奉天國通」 鐵路總局では十 城驛こ改稱無順を撫順

總局バス運轉を見ん

臨時種痘 一十五、六兩日 新京警察署では痘瘡豫防のた 新京警察署では痘瘡豫防のた 十月二日午前九時から午後三時から午後三時する

新京キリスト教女子 青年會 (現在事務所崇智胡同四百十三號)は十三日午後新京婦人 團休聯盟に加盟方を申込み聯盟では即時に加盟方を申込み聯

新京商業寄 表端を除く)第一期種痘該當者で種痘を受けたるも不善感なりし者および第二期該當者で種痘を受けたる者、以上ので種痘を受けたる者、以上のほか種痘後端五ケ年を經過したる者は此際なるべく種痘を ことになつてゐる 碑前廣場で歡迎園遊會を開催年後四時から西公園海軍記念 京總領事。地 起の下に來る二十日を設定表するため、新意を表するため、新意を表するため、新

装をし

秋祭奉帆

舞踏會

-五日は新京神社秋祭につき奉祀のため午後七時よりダンサーー同類のの假、東京甚句、東京甚句、東京甚句、大災甚句

ヤ

ピタルダンスホ

聯合 歡迎の 日艦隊將士 袁

なつた、要種痘者は未だ種痘なつた、要種痘者は未だ種痘

を受けぬ者へ但し生後九十日

終つて自由行動のうへ宿泊で、八時十五分歸着、二十三日午後のルピンへ、二十三日午後のルピンへ、二十三日午後のの時十五分歸着、二十三日午後のの時十五分歸着、二十三日午

零時三十分蔵で離京の豫定 前九時五十分およひ同日午後 前九時五十分およひ同日午後

念 販市民の参會を希望してゐる 日 たいと、主催者側では一般多新 日午後四時まで地方事務所庶新 日午後四時まで地方事務所庶 

來る十五日は新京神社秋季大祭日に付き當日は勝手なが

ら休ませて頂きます

食

道

樂

靑

電

話二

九

74

二番

多數の寥宮を希望

月

P

全

本

生

(F)

バリカン岩様 原作山崎謙太 監督大谷俊夫 杉狂兄、吉谷久雄、田村邦 男、星ひかる、朝萬太郎、 山路ふみ子 共演

王の手に戻つて行くのだ、妖

女給

Ξ

十才

以

F

客歡迎

新京驛地下室食堂

十三日より

霧 朝 の 根 利 日間上 品作の心苦亭芳●トスヤキータスルーオ竹松大映

女店員募集

若い方本人來談の事

新京みやげ賣店新京解前ビューロー隣

世界カクテルの ファイ 敵味方大喝菜 ンプレ

吉野町四千

電話五九七四

五 六日野サー

セカイハイボール、ストライクカクテル自由自在にイ

And it comments to the comment of th

電話 京

区

ot 街

5 ==

まし打者トントシ的三振の意氣込む…







友店 ダイヤ街永樂町角本社よりの直送品

日本 サンザンク

は高屋の五色館

明朗さこ立体美を誇る

に策展發

豪華ダイヤ街 三年前は丈なす雑草の荒野原 町民協力

もこの計畫に組大の護和を表 をはじめたので直ちに本建築 に着手し昨年の十一月大体の 完成をみたのである、そこで 前記七名の有志は更に發起人 となつて「覆蓋馬場跡設展速 かあへず同年の十二月に懸賞 身あへず同年の十二月に懸賞 が、同時に同委員會を解散し

は では路面もほぶ完成して町内 から の 戸敷も百八十戸を敷へ殊に 最近工事を終ったスペラン街 だは店頭のネオンサインに和して夜のダイヤ街に一段の情 地と美観をそへ新興 関都の新 かるる 商店として萬金を期すべきでは小心も自然南地してくるのではなった。

に態嘆の醪を發するであらう

街 著 商

明說眞寫

スズラン燈の建設なる 東海 天 一 浦 洋 行 本 本 本 本 本 本

を 接室ネン を 発商洋ド 競行店行ラ屋

数シマシタ 第二努力致シテ届リマ 念シ憂越ナル製品ノ生 念シ憂越ナル製品ノ生

豊屋旅館ニ九三七

旅館新設

豊家號カバン店・乗り二九三七

勝ない中に、陰所に続いてゐるが

多和場に同下のるる方へ

今天 (B) ◎ 釜

許京の革分

全道等

-111

電関七八五

其他お好みに應ず

早田と宇和島此のご古を実内

のち

6

U

日本陸名章 なめと料理

の細から五人づい回すやうにしやの細から五人づい回すやうにしや

口出前迅速口

6

●純東京にぎり

すし

離山は云ったが、直く言葉を履

私が相尾やするのだが採用

二手を下すのは夜の日々(作け、

の作講げる実際を初め首節の

「神苦弥、今其陰で渡と瀬井の「神苦弥、今其陰で渡と瀬井の

あ残をしばればい」かだ! 加茂場にかくれてゐて、「げて

一級田が門に代世跡ちや、此の一派知しました。

徳田は了派した

御用命は成可くお早でお願ひ中上げ

近いのて来た。 岸田と徳田と

するのちゃし

**西茂迄の方へ、にけ出さずやくに** 

新京神社秋季大祭日本る九月十五日は

型新最

是一个一点, 第二七二四番 第五四八五番

本 橋 通 b

10/

し竹食堂

お

B

で話五二

なる三人を引連れて神山は加改 の三人を引連れて神山は加改

その三人を引連れて神

山のまはりには芝青と六酸と

飛艇で、同じ海筋のずつと既寄り で、同じ海筋のずつと既寄り 聖, 部 田

龍 平

照通町車な出上 林田寫真館

電話本店三八回二番 支店二八回二番

一等入賞名譽金牌授領

爽かな秋!!

まさに寫眞の候

出品共同主催第二回全鲜菓子品評會

である。 「常田やはりお配が正面の表す。 から、 の先きに断奏召補りに向っ である。 の先きに断奏召補りに向っ を表すた。

それから、強山は、宇和島に向か 神山は阳足した。

との利く加茂堤から、川原の方へと呼吸の方へ入込まさずに、貝部 瀬井と似之助は旨を了承して立 おびき用す策戦ちゃ。どんな見職 の医る家の前通り途を持ちと心器からかけて、北へと横濱を、曲者 立てるのは今のとこでは禁物ち ろ、やはり騒々しくなつて來た かあるかもしれないから。足音 御用呼ばはりをして、曲者が 受取った。 匿るんだから、その用数が肝心ち 神山のさし間を採用はすなほに 深知いたしました

急告

綿のお手入時

直

は迅

御便宜を計る爲左記取扱を致しますか

で のがへ助者をにがさぬやうにして のたんぼ 週へ随を 弱つて、たんぼ 「宇神島お前は、曲者の家の節

外科、性病科

100

会話ニ六**〇六番** 富士町三丁目

●診療時間 ●

日曜祭日午前中

荷

明新

| 職計機を立てた官を語った。| なら角形堤のガヘみちびくやう策

ドライクリーニングの 責任ある専門店へ

カリーニング 御下命下さい!!

9

仁醫院 電話三四三五番

治療受付 兒 科科 正午より午後三時まで 杏林堂醫院 電話|五二〇帝

新

尚申込は小荷物

目品業營

上表新裏表 吳 敷座疊替替

製綿所

新綿も各種豊富に取揃へてあり

▼受渡貫目は正し い速 一、ガニスとの一の一の一の一の一の一の一の一の一般の一般の一般の一般の一 東書にて左記にす 右一切迅速確實に 一、 同到着 一、 京京驛

取扱ひ致しますから御用の節は電話か瞬留小荷物代理引取及配達

情用は**愛NNOの番へ** 

扱所へ社内二四五番)にされ

業 告 廣

新京中央训修祭署向

那煉瓦販賣

(東二條通交番隣) 魔話 至 三 九 七番 曜町 二丁目卅一

開 產婦人科、耳鼻咽喉科

內科、外科、花椰病科

祝町三目新京キ不中前

御電話次第直子三零上電話三八四三番取次

新也帶道具數鉄屋商店

入舟町四丁目十七ノ三 入舟町四丁目十七ノ三 八角町四丁目十七ノ三 運河<sup>黑赤</sup>寒栗碎 煅 煉水 部砂瓦石石石

電話四九三二番 富士町二丁目廿六番地 茂

電話三八七八番

磁器

御下命下されば直に参上の衛の御用命は

品也質卜 具 限 は

◎中央通り四公尉前◆

**臀話五三四六番** 

梅ヶ枝町四丁目十四番地 電話三三四一番 一八番の 通报4 舌端に おとる 教のかほり

青

宅提灯店 料 理 席 事領 日朝 通 四

臨の程お願ひ申上げます

新京金融經濟狀况

に於る

限納 ち保合裡に越月せり 日限 しも月末再ひ一〇八圓合に落 日限 しも月末再ひ一〇八圓合に落

地主なる原因でロンドン市場に が主なる原因でロンドン市場 に於ては大豆は瓩當り約七磅 に於ては大豆は瓩當り約七磅 に於ては大豆は瓩當り約七磅

院の信仰の重大さと併せてこれ。 院は一覧産業開設に関する同じに、企業務應所管の大陸科學研究 には、管業開設に関する同じに、 では、

朝鮮銀行新京支店調查日

一一五圓五〇と上伸尙當眼納 ・ 園台に大保合に推移し平鵬種 ・ 国台に大保合に推移し平鵬種

府况亦閑散にして目星しき般商况以上の如かりし爲金

、金融市況

あ し は

图 参 金 幣 基 票 食預貨預貨預 出金出金出金

月末に於ける當地諸銀行へ組織を含む)の預金貸出残高は一気を含む)の預金貸出残高は

**愛買その影をひ**そめその後駆 ば最近に於る特強市場は投機 は最近に於る特強市場は投機

されるであらうされるであらう

價は幾分低下

東株市場の

るが、國部建設に伴ふ道路の査定を終り近く公表の筈であ歳入豫算は民政部に於て旣に歳の法を必要の籍であるが、國部建設にと改善に終して旣に

九八二、四三〇八八八二、四三〇八八二、四三〇八八二、四三〇

三、八六三、六九五

水道の敷設、電氣事業

般、特別會計總額 五百六十萬

國都の躍進を如實に物語る 新京特別市の豫算

米國ク

D

ム鍍

運ばれる段取りとなつた、右紹介の上盤々正式に閉議に持

千噸賣買

計略時節 概常節 表 表 表 出

新書官(施任文代應任)二人 ・ 本務官(應任) ニー人 ・ 本務官(應任) ニー人 ・ 本務官(應任) ニー人 ・ 一人 研究員(簡任又は鷹任)

洲特産界に春來る

世界的需要喚起さる

好調、毎日百余車の新手合

院の協議を必要とす 、本院は日本版内其他に於る斯泉の權威者を顧問として聘し隨時招致して研究に 関する金割指導を委嘱す は三個年とす

ことを規程せざるものとす。 本院の研究分科及ひ所属的 関則とし從つて豫め網羅的 では、本院の研究分科及ひ所属

||将来||に大なる期待を||賣り

三圓安で前途暗澹の狀態にあ

**臺をすべつて百九圓八十銭に 蕎果的安値、日産も又百十圓** 

相場で新東は三十圓臺割れ 相場で新東は三十圓豪割れの【東京國通】東株市協は恐怖

大陸科學研究院

0

設置案要繼

リールウェイ 輸入許可制 ム靴陶磁器に

東側當量を決定し一九三一年 東側當量を決定し一九三一年 原磁器輸入許可制度實施の結 に五高割當量を決定し一九三一年 日本製ゴム靴は本年三月一日 日本製ゴム靴は本年三月一日 以降明年二月末日迄の一ケ年 に五高割當量を超過すること 三動三分の現狀にあり、ゴム 和陶器と共に事實上今後の輸 に至る割當量を超過すること 政府が採用 が得てゐるんだし、性のよくな 「他は、法律の裏面りは一面り 足を投げ出して、同別のものとはせる、アンバンを買って来て とべば、便所に出して戦闘を戦したなどを話れない。ただを選ずることを忘れない。ただ 見て見ぬ振りを とた戦闘、工族は驚きの騒をあげた。 き上戸だつたのだ。工能は、始 『おいおい。

したら、無銭や金銭温製でひつ か」るようなへまはやちないん めし献だからなあ……俺が浪人でい地域りの二人三人こなす位朝 水口は突然でき止んで、フラ

い入って来ながら、 い入って来ながら、 には触らないら

工職なんて、知られ工職なんて、知られ よ他は工機だよ

「出前迅速」

たのか、工能二郎

給

は十五年のプラン

(金)日四十月九 歲計 臨時部 一 計 臨時部 一 大 歲出之部 是 引 發 種 题被行

發展 定率 公務 仮然

1月11年北京

融行所

1大中、田園園 1五四、五八八九八 くが、 でいる

用に闘する技術上の審験並理に属す 一、本研究院は國務總理の管設置案要綱によれば 大人げないぜ、あんまり……」で大人げないぜ、あんまり……」で 「おい、君は水口がやあないか

本研究院には左の職員を 「やあ、我か、還入るよ。

るにけ違人るよ。しかし君、いやしくも國士たるものを……」。

避査は、今の職を止めたち歳人、る比較であつた。つまり彼は近来適三段のデブチャン転旧田、ない整備郷であり、謝畝に風すた。 では、一されは漢人がい龍三郎の柄に

△康總元年世豫第
〈單位國幣圓〉

即ち大同二年度豫算に比較す

元、000元

きもので國都の躍進

1、01人、単人の

||港の彼女達|

下手に出られて、水口の酸 ゆった眼を向けて をが、無臓に草臓ばきといふ様 水口は、いかに をが、無臓に草臓ばきといふ様 水口は、いかに がった。 がつた眼を向けて、天山を見据 水口は、いかにも繋外らしく か かった。や

●客月不慮失火の際は皆様より格別の御

挨

世話様に預り難有御禮申上ます

、子供のように、哀れつぼく 突然、水口は顔に脚掌を當て 始めた。

「うむ。見てゐた、まああれた 「天山、みてるこか、みてゐた

の 日盤い」 「天山、館は歌られたんだ。館は歌られたらい、だらう」 られたんだ。値は

一後の切 女八人感激時代日日 木澤大柳 下 林 双领子子

大附译(紙)

業 興 復 月 懲 開  $\overline{h}$ H

の前來松浦組に委囑して更新改築中の盧 一茲に更生一切の改善を加へるをまた東 ●何卒倍舊の御愛顧を伏して 明明なるサービスを以て奉仕いたしま る優雅高尚なるホールが出來ました是 援助とに因り最短時日を以て從前に勝 同組の熱誠なる努力と皆樣都大なる御 亦厚く御禮申上げます 御

御願申上ます

カフヱー

君は、水田ぢゃな

電話 階下二五三〇番

新京東二條通十一番地 會 下 四八 迄

引

++

人人

受 内地みやげは… 二十五日より 小包便 なしまず御利用を 新栗 吉野町

土地家屋賣却ス 問合セハ 電吉 話野 二町 五二二三番

大小宴會の 設備あり(三百人様を) 大小宴會の 設備あり(三百人様を) 大小宴會の 設備あり(三百人様を) 大小宴會の



# ける閣議で決定發表

## 可及的速かに各種手續きを了し 本年中に實現の運び

在滿機關の最後妥協案は十四日の閣議で決定

# 早急實施を要望

# 案の重大性に陸軍側緊張

東西通山 政府の在務機構 一、同案は関議決定の上は案 東西通山 政府の在務機構 一、同案は可及的速かに所要 一、同案は可及的速かに所要 一、同案は可及的速かに所要 一、同案は可及的速かに所要 一、同案は可及的速かに所要 とた結果、大体ズの如き は同案の重大性に鑑み では同案の重大性に鑑み では同案の重大性に鑑み

勅裁を俟つて法制局で官

(東京國通至急報)三土前鐵相は十三日僞證罪で起訴され

昨日市ケ谷刑務所に收容

遂に午后五時廿分市ケ谷刑務所に收容された

おいます。 一覧を表すれる。 一覧を表すれる。 一覧を表すれる。 一覧を表すれる。 一覧を表すれる。 一覧を表すれる。 一方低金 一方低金 一方低金

偽證罪で起訴さる

の責任につき白を切り得るやソ聯、これでもなほ鎌路破壊

ガラス 部の擔當器ペンキ

の擔當者を求む

スキ急

下らうなど思惑師にはチトつ折角當つた電話が四百圓合に

と意見の交換を行はしめんと機の根本整理につき國民政府 職裁をして民間を代表して れて居る機様で成行は注目さ 佐藤、齋藤兩大使

直ちに睾天に向ふ豫定 は十五日午前十一時新京屬本 十四日正午飛行機で新京優へ一一四日正午飛行機で新京優へ

一、類々たる

機的待遇を承認する事に絶對以てソ聯政府の聯盟加入に特 會席上ソヴェート聯邦の聯盟 加入問題に言及し大國の故を イルランド自由國代表デヴー

するものとして 業員の検擧に関係 業員の検擧に関係

**従業員** 

では左の如く言明に関し一部では右に関し一部では右に関し一部では右に対き補 ||満洲國側官邊では語る||

係してゐる事實が判明して 北鐵の治安を攪既する不

十五日は新京神社秋季大祭につき 十五日は休利

年通り十六日附朝夕刊を臨時休刊

南

ますから御諒承下さい

の自由を保障しれつ最近米 員の逮捕は 平なる司法権の發動 下したデジアルラヴ

マートを有すると宣傳するのは 味を有すると宣傳するのは いこれに關連して政治的意 のに過ぎない のに過ぎない

曾ヲ得度

)竹食堂

記

**赶增設** 舊二七二四番 日本 橋 通 り

海路の保全を超す

東京新京ホテース分開京新京ホテー

る對日滿陽保の局面轉換を圖べれた。

愛蘭デ首相

**秘密會議を**痛烈に攻撃した

ソ聯邦加入

協議會

の蹇室に於る秘密取引をコキ代表並に新聞記者側はホテル

ユレニエフ大使

る量、駐日ソ聯 さの後任として その後任として その後任として

使に轉任せしめ 東大使ユレニス

**三百午后完成、午后六時**内閣に回附した (東京國通)十四日の閣議に提出される改革問題の最後案は陸軍省軍務局で十 の上即日發表される筈である

對滿事務局總裁に 陸軍武官を主張

株式暴落は 荒木、阿部兩大將が最有力

人氣は落着く

これ等諸材料は事業の種類に 材料も敷へ得るであらうが、 材料も敷へ得るであらうが、

罪の起訴手續さをとるに至つ氏に對し檢察當局が遂に僞證 于學忠氏相手に

一、 今週の事件は前内閣を倒ってある

壊せしめた

されてゐる。

てあるが同氏はこの事實を ならず、運動謝禮の意味に ならず、運動謝禮の意味に ならず、運動謝禮の意味に

三土氏は本件に関聯して

八毅氏(民政部大臣)

等の静據に引

爪要役割を演じた の、しかるに本体 の、しかるに本体

・北島雨局長外闕東廊より午前十時より拓相官邸に生

諸問題解決に

宮越氏事件禍せん

非武装地帶の不祥事件頻發に

我官民極度に激昂

側の要求により、十三國通」岡田兼任拓相は

和相 より

政府の意向傳達

として安那側の傳へるどころ 配体となつて發見せられ十三

唐山守備隊

ところ認からず

は支那側官憲より遵化縣境に 〇〇團御用商へ宮越與三郎氏

事は今後非武裝地區諮問題解 ひ解決に努力する事ふなつた 日本官民を極度に激昻させた 津の上天津日本總領事館を訪られず殊に近來非武裝地區に 子學忠氏は同問題に就き關係

近に於て殺害を傳へられた第

超し自轉車で通過の途遺離し自衛廟との對立狀態の中を富

常なるセンセイションを與べ にゅつて出動した。 事件に引敵き宮赳興三郎氏の るものとし十三日朝唐山守事件に引敵き宮赳興三郎氏の るものとし十三日朝唐山守事件に引敵き宮赳興三郎氏の るものとし十三日朝唐山守

友那駐屯軍成行を重大視

に於て激化 た保安陰と地方

教害事件に関レ河北省富局に 於で連かに誠意ある解決を爲 さされば日支兩國間には再ひ 重大なる粉料を招來する違れ ありとて酸重抗議を爲したが 声學忠氏も「この監充分考慮 して出來得れば速かに解决す るであらう」と答べた、使つ

三土氏は之 流石

心よ正式交渉 事は吉田豫審 時四十分長尾線であ

河本理事 新京駐在の河

その日く

りけふ正式酸麦の種ひ在減機構改革最後的姿態

菱刈軍司令官

きのふ歸京

事、まあ見てあやう 事、まあ見てあやう

**世間五八六七番へ** 電話長二六〇一番

新京師より東へ四丁

本大連大連 大連銀大洋 大連銀大洋 大連銀大洋 大連銀大洋 大連銀大洋 大連銀大洋 大連銀大洋 大連銀大洋 大連銀大洋

- 四日午前七時荒大湖へ、 ( ) 本フスキー氏(哈 ・ ) がリー紙記者

悄然たる三土氏

心境を語る

第は十三日午後三時手織きを 焼事局に廻附し、検事局では ・検事局に廻附し、検事局では

心士ン十四日午前九

各地市場

羅織 御指定 サービスを 御客様第一の 新京ホテ 皆様の ・そして 親切 新京

新装なれる

四月少佐へ新京商楽學校配出の少佐へ新京商楽學校配出の少佐へ新京商楽學校配出の少佐へ新京商楽學校配出の少佐へ新京商楽學校配出の少佐へ新京商楽學校配出の少佐へ新京商楽學校配出の少佐へ新京商楽學校配出の少佐へ新京商楽學校配出の少佐へ新京商楽學校配出の少佐へ新京商楽學校配出の少佐へ新京商楽學校配出の少佐へ新京商楽學校配出の 岩勇夫氏(名古屋市長)出権を師い高野山大學長)分清開原から 所長》十三日午後四時四 年後四時三十分發大連へ 子後四時三十分發大連へ 大太氏(文教部太長)十三 高野山大學長

個證は事實を

根底から動揺さす

起訴に至つた理由

● 大連金鈔票 111公 111公 111公 111公 111公 111公

# 學校當局解决に腐い

風通] 十二日午後

は東京、名古屋、出来祭で特にサー

も人気を呼んである 座は大に賑ひを呈すべく早

けるの銀相場

は多

人老松町二ノ三天野商店主は小野氏の友人で雅量君の保證 でゐま るましたが別に

つばらつて

天野氏語る

拐帶犯

ベバロフスクで逮捕 の公金五千圓をか の公金五千圓をか した 関に高飛ひした

を慘殺逃亡 ・選撃市街二ヶ所 別の匪賊約五百名 十二日午後五時

**舊戦 遂に優勝** B組は樋口、岸組が獲得 庭球選手權大會 田組

一粱畑て 一〇(世 三一四(加加 一四一四

で、日本日二 B兒 絕

**E** 

XX e XXX e XXX e XXX e XXX e XXX e XXX

人逮捕 ン工大の

がいつまで持つても大き

位

電話三〇 九五. 大希望者來談

特約店募集小資本二テ何人二 モ出來ル質用品ニシテ收入多 新京大和通り四四大成館内 品

許

宵宮祭を迎へ

て知つた

ましたので始め

范家市署で

湧き立つ全新京

京百貨

機銃、小銃、拳銃多數を押取

ソ滿犯人十六名逮捕

丁五日から 人形座復興開店

商業學校卒業程度

御贔負筋の切なるおすゝめご絶大なる御後後の 新築中の處愈落成新陣容全く整ひ本 披

に華々

開業致すことに成りましたから静

日の

大吉日

か

な落ち

青畳の香の高い

つきのある

かな初秋のモダンサ

三笠町三丁

新京の誇り

に身代金によりによるため は数出験の注 に身代金に子でなった。 に身代金に子でなった。 に身代金に子でなった。 に身代金に子でなった。 に身代金に子でなった。 に身代金に子でなった。 に身代金に子でなった。 に身でなった。 にりなった。 にりな。 にりな。

調達せし

定每例月

後後日本コロムピア會社、日本ポリドール會社

格

的

ス

Ŧ

0

演



まし打者トントン的三振の意氣込……

方大喝采

話電

二九四五

字文金板看術美・負請り工堂キンペ築建

唐旅着脑



二井火災。東西北電五六六九番示洋边 3 3 助け 0) 特新 比 0 子

合待的

一条町明神込動

松京町ダ

ニイアヤ

目 街





版新江

Fi€

八台

景。

日五十月次 日七月**入**意

香沼タイプライタ

十三田より

五日間上映

(禁上映)

行友李風醫作

鏡銀平他二氏臺

白の人

氣を緩めず進め

印

刷電話五九二三番 馬梁社印刷部

**医正动** 

深思

千萬である、ドイッに於用を受けてゐないのは失

単策に大童である にを惹起し大関代表

表の硬論をどの程度まで抑へ ド代表デヴアレラ首相やボー ド代表デヴアレラ首相やボー

破壊の具となるに過ぎない。 ある変然不明確の提案は決かる変然不明確の提案は決かる変然不明確の提案は決かる変然不明確の提案は決して平和でない、斯のですが、所述のである。

亲广

日

曜

土)

認

京

五日左の如き聲明を發した。 同元年三月二千萬民衆の

爾來星霜玆に二年此間議宗書

週

H



融行所

吉川商會

甲板

承認二週

水越木 河 交 市

日本の 片や新京神社

一週年

全市歡喜の

總理の間に調印されたのである、爾後まさに二星霜、新興満洲 國の 國運は隆滿國交史上輝かしい新紀元を劃した日 滿議定書がこの日、わが武 藤全權と鄭 々の各行事に満洲國各界上下をあげて慶祝氣分にひたることになつてゐる ことになつたが、この日國都新京ではこの意義深き歴史的 記念 日を迎 興論を尻目に、わが日本が友邦満洲國のために敢然獨立國として承認した 々として朝日の昇るが如く兩國の國交いよく 十五日は日満兩國人に取つて最も記念すべき 日だ、囂々たる世界の 1親密を加へつ」今日を迎 3 H

### 交部樓 大な園遊會

外交部では承認二周年記念の日の招待を受けた日満各要人は日本側闢東軍方面より変別は日本側闢東軍方面より変別は日本側闢東軍方面より変別は日本側闢東軍方面より変別を開催した、此の日の招待を受けた日満各要人 一 同着席するや滿洲國軍樂歐 顧問その他官民代表多數參集 顧問その他官民代表多數參集

生族々として写きと 無いる。 東へられ殊に本年六月慶祝の を目の歸結にして建國精神の を日本帝國は攀國一致養婆を し日本帝國は攀國一致養婆を し日本帝國は攀國一致養婆を 代秩父宮殿下 爲め日本帝 的結合は盤石の堅きを加へくならは壁下の御渡隣あらせ、父宮殿下の御渡隣あらせ

酸然たる獨立國家

**肥念する爲各官廳に於て左の** を迎へて満洲國では此佳日を

△市政公署では承認記念に開

固となれり

を行ひ終つて一同に賜餐あ 関長に関族七十旒の親授式 関長に関族七十旒の親授式

△右の外各省公署に於ても夫

を機會に軍旗親授式

る映書講演等を行ぶ

て慶説にひたる事になつて、一段校は一斉に休み國を撃げ、一路を持ちるが全國の官廳、

全國團長會議

ある

政部との連絡を保ち且つ新軍 が之を機會に各側長と中央軍 が之を機會に各側長と中央軍 が之を機會に各側長と中央軍

以来、内に於て

を迎へた満洲國協 ・地方の分會は ・地方の分會は

するものなりて特來の援助協力を切に矛も

へ使に捧呈する

慶祝行事

火の打上げをすることになつ間は市立第一小學校附近で煙

絶大なる援助に由 至りたるは一に日 では、大学大

日滿將校園遊會

諸制の普及を目的とし

ものとも

今や時局の重大性に鑑み日滿ろとす るに不拘獨り大日本の代勢に對す たるのみならず東亚 州帝國の將來に光 婚し大同元年九月年和の大義に則り 公等滿洲國民の なすに至りたる 間に日滿交離放送を行ひ、雨が京放送局では十五日を記念 △總務廳に於ては午前十一時 日滿交驩

代衆の齊しく日本帝國 々强化さるべきに 間に日滿交離放送を行ひ、雨 関々歌の交換後新京よりは野上 拓務次官の挨拶を行ひ更に午 る日滿要人多数を集めた調印 る日滿要人多数を集めた調印 記念祝賀會の實况を全満に 國務院で 祝賀式

雷り全満民衆代表 | で祝宴を催する 議室に雇員以上が集合 國務院では午前十一時から會 **式後食堂** 

来ない 来ない 来ない 来ない 来ない 用さるべきことを主張して 右條項が各國に差別なく適 記念事業として午後一時か

盟

らも出

外相不合理を痛撃

ないか、ボーラン

八狼狽

な好關係を事實上斷絕するに をしく次の如く言明した でして、更にベック外相はバエット外相の虎の子東歐ロカルノ條約案をも賦飛ばす方針 であるである。
である 國務院會議 画り且つ新に福要地十三ケ 、 既設森林事務所の**充實を** 林事務所官制中改正の件 提出事項 る爲森

近く來京する聯合監験未表司をの他各旅館に決定し、大和ホテルをの他各旅館に分宿する事と 各將星の 宿割决定

**記念の日満將校園遊會を催す** 本テルの納凉園で承認二周年 軍政部では午後四時から大和 協和會の しますから御諒承下さい年通り十六日附朝夕刊を臨時休刊致十五日は新京神社秋季大祭につき例 H は休利 より 張大臣、王次長、板垣最 を事となつた、この日軍政部 る事となつた、この日軍政部

承認記念日事業 高顧問出席、先づ張大臣よりの訓詞あり、次で板垣少將よりの訓詞を終つて王次長郭参明長の講演があり正午一旦 は前長の講演があり正午一旦 は前長の講演があり正午一旦 が憩して午後一時より張軍需 である。 である。

とはあつてはならない、お五 に心すべきである▼すつた揉 んだの機構改革案がどうやら いよいよ實施されるまでには なほ時日があらうが、これで 大の關心が いへる▼がしかし今 品製具革外其具馬 **塲工靴保酒品製軍東關天宰** 





対域を ・共に國基態々安泰 ・共に國基態々安泰 ・共に國基態々安泰 ・共に國基態々安泰 ・共に國基態々安泰 友邦日本の絶大 つて建國守成の

意を中外に示した。其公明なる襟度となりしに拘らず友



とは謂へ友邦日本の率先

率先承認したる二周年記念本日は日本帝國が満州帝國

の祝鮮 日本と相提携して建國の大義 なる感謝の意を表すると共に

の規模

に満州帝國に於て帝制を實施 して國礎愈々固きを加へ萬般 して國礎愈々固きを加へ萬般 政の確立及文教の進展等に付安の維持産業交通の發展、財 るのみならず満洲帝

永く東洋和平の礎石 る大第である 慶祝すべき一年でありました。現交益々厚きを加へたる個での御渡鞴を拜して日鞴兩國のの御渡鞴を拜して日鞴兩國の 之は英邁なる満洲國皇帝陛下 伝るものでありまして

**站に満州図承認第二周年を迎** 第であります 力を續けて理想の樂土を實 今後も尚満洲帝國の平和と

め誠に慶賀に堪へぬ次第で

洋の平和延ては世界平和の一

空戦隊司令官和田少將 (滿 少將 (大和ホテル)第一航

の行事がなされるはずだ▼ 念日であり、各種 肥念すべき承認記 記されてき承認記 けふは新京神社の

といふ趣向だ▼一方日本側で けふの日を有意義に迎へやう はなどで氣勢を添へ に迎へやう

協和會から

菱刈大使に感謝狀

りの謝意を表すると共に併せ

の協和俱樂部から演藝放送、し、同七時から四十分間率天し、同七時から四十分間率天

同七時四十分から八時まで街

日本(満交タイトル、五卷) を催し恭迎秩父宮殿下〈三卷)

四ヶ所で講演會を開催同六 校、第十九小學校、市公園の ら市立自强小學校、第十小學



定

## 日あつけ ・大團

質疑應答二時間半の長きに亘り

全閣僚の意見完全

午后一時に至り漸く意見一致、別項の如く解决案大綱を發表した 相並に河田翰長より關係各省間の政治的折衝の經過並に解决案の內容を説明 したるに對し松田、町田、床次の各大臣より種々質問あり 十四日の閣議は午前十時半より開會、在滿機關改革に關し岡田首 岡田首相之に答辩し 一に就ても其の輪廓を窺知し一に就でも其の構成立に第二の問題を解決すると同時に第二の問題を解決すると同時に第二の問題を解決すると同時に第二の問題を解決すると同様への切なる建賞であつたと ひ一意改組問題に

## 發表された改革案要旨 、關東州には知事を置くこ

图 五 十 月 九 年 九 和 昭

革案の型旨を左の如く競表 三、東京國通』内閣は在滿磯關 ※ る 野滿事務局を新設し、 四、駐滿全權大使に對し滿鐵及ひ滿洲電信電話會社の業務の監督及ひ關東州知事其

全權大使との二位一体制に一、現在の在滿機關の三位一

事項の大部を所管することとに拓発省所管の對滿關係

京

しめ、之が爲大使舘に一事行政を行ふの權限を附屬せ に屬せしめること

れる幹部、社員會 る命令系統を

社内に準備工作論

目さ

たがこれは大局的見地から國一の二項目を提出したのであつ 州內外廿九警察代表 々旅順に集合

に價するものがある

新京の電話相場は

たが下る

機構改革對策協議

午後に持ち越された、全陽東 修警察官の意志を一任された 代表者連の會合だけにその成 行は各方面より注目されて居 外務省辭令

【東京國通】外務省辭令 大使館一等書記官へトル 大使館一等書記官へトル 諏訪

と多くを語らなかつた 郵便行政には

されてゐないので靜觀的態ろ通信事業に關しては明示ならない、現在までのとこ

たず 避信局幹部から何分の たず 速信局幹部から何分の

關係ない

高橋局長語る

軍部案實現

は

意義深いもの

満洲國方面の

その大部分は新設五千台番號

以来一をりそのうち約

新京における八月中の電話名 機變更は百件、九月に入つて 十三日までが二十三件で八月 の電話である、個 最高八百圓、最低 最高八百二十四圓三 が最高六百二十四圓三 が最高六百二十四圓三 が最高六百二十四圓三

にすぐこれを市 にすぐこれを市 して申込んだ加 にすぐこれを市

場に出すものが少く日和見の 百五、六十圓から八百圓で取 可五、六十圓から八百圓で取 は八百圓くらひで相當な利益 てきたため市價は漸落し<br />
八月<br />
末にかけて<br />
賣物がどつと出 上旬思ひきつて手放したもの

具体案决定迄 伊藤取引

所長の意見をたゝけば語る 決議並に宣言によつて既に 意志表示をしてありますが 意志表示をしてありますが 関語の决定といつても抽象 的なもので具体的な決定は これからで、私達としては この具体的連用如何が重要 な問題ですからそれまで靜 な問題ですからそれまで靜 所長語る 伊藤取引

日頃しとやかなカフ

エー世界の女論軍

ス

迷

手

セカイハイボー

ル、ストライクカクテル自由自在にイ

あられもなく野球ユニホームで・・・

の意見としては既に决定し **うと思ひます、陽東職** 

案外ひつそり

關東廳出張所

馬は十五日から三日間、次い新京賽馬倶樂部秋季第二次競 第二次競馬

田溝護定書の精神に立脚し で國策遂行の見地から提案 された軍部案の精神が貫徹 されたことは邦家のため誠 に慶質に堪えない、最近現

對外的重要案件が山積してゐ現在の日本は軍縮會議其他の

内容が判らぬ中は

何とも言へ

高山警察署長語る

つてはありません、たゞ自ったからとて別に感想といったからとて別に感想といったからない。

感想はな

右につき高山署長はを述べるべきでないから差を述べるべきでないから差

漸く

だその詳細が判明しない時

各人個々の立場からみれば不 地ではあるだらうが解決を 見たことは裏ばしい、不満足 見たことは裏ばしい、不満足

のため 慶賀に堪 のため のため

の」を頻繁してゐる以上當然斯々滿鐵が「其の後に來るも準備工作の謎が擡頭し始めた本の人。

在滿機構改革案に對する閣議

へば某参謀は大の如く語つた

時となつて改革案の實現を見 を言うればこれに伴ふ滿鐵改 を言うればこれに伴ふ滿鐵改 を言うない。 を言うない。 を言うない。 を言うない。 を見せて のとして機構問題に のとして機構問題に

一大学一視してゐたがなの意見影取もなかったので

政府の折衷案なるものが

今後は改革案に基き

協力邁進する

ないと思ふ、若しも通信事い服り通信事業には影響はい影響便機關が分割されないが郵便機關が分割されないが郵便機關が分割されないが乗りがある。

本 右に関し満洲國側では結局お が然し補洲國は獨立したとい なこともなく又満洲國として したことは意味深いものがあれているのであるからこは で、三位一体が二位一体にな 提携による軍事工作は多分には で、三位一体が二位一体にな 提携による軍事工作は多分に は こともなく又満洲國として したことは意味深いものがあれていることは意味深いものがあれていることは意味深いものがあれている。

されることに就いては同情私共としては関東廳が解散

ば最後の決意をしなければ 衆の行政機構が州内外に區

關東軍司令部某参謀は語る

三省案の對立に際し滿鐵監督では間頭勃發以來陸、外、拓配者に思つたが、滿鐵とし半後滿錢林總裁は旣報の如く

拓務案は破れた

各方面の意見は

對する閣議の决定を齎らせば十四日夜、在滿機構改革案に

【大連十三日發國通】在滿機

案が如何なる

い鹽原秘書官 分としては困つて終つたと るか、私の方では今のとこ るか、私の方では今のとこ とは遺憾に思 えない 電車勝は最後の一レースにと 第一日の十五日は午前十一時 に開始十二レースで出走馬數 に開始十二レースで出走馬數

任大使館一等番配言 オッダエート等将在動 大使館二等番配官(ジューザ) 絶領事(ハンブルグ) 基文

日本農民を 州の排日暴徒

||本子||た||する好條件に惠満鐵が自衛策をどう練るか首端策をとう練るか首

契を結

ス) るのは當時武藤、鄭兩國代表 女に興へ世界をアッと云はせる) るのは當時武藤、鄭兩國代表 女に興へ世界をアッと云は世野にも價すべき二本の毛筆の いゝ無心狀が中には憐れつが七十年來書きなれた自分の ばかりは手離しかねたと見えが七十年來書きなれた自分の ばい文句入りで舞ひ込んだも響名し、一は名書家鄭孝 氏 のだが、流石に兩代表もこれが七十年來書きなれた自分の ばかりは手離しかねたと見えが七十年來書きなれた自分の ばかりは手離しかねたと見えが七十年來書きなれた自分の ばかりは手離しかねたと見えが七十年來書きなれた自分の ばかりは手離しかねたと見えが七十年來書きなれた自分の ばかりは手離しかねたと見えが七十年來書きなれた自分の ばい文句入りで舞ひ込んだも響の「垂涎の的となつたことは蓋り、鄭家のは新京の同家に大し當然だ、ヴェルサイユの講 切に保存されてゐるとの事でを かつ 神宮族に於て署名したベンを ある

平原で在留日本人農民がレタ | 和會議に於て署名したべ通」アリゾナ州ソルトリバー し當然だ、ヴエルサイユ し當然だ、ヴエルサイユ

を洗し込み値付け お氏の畑に灌漑!

學校運動會

禮

顧問として應急對策を考究スから出張中の中村辯護士

二本の筆合いづこ

此の度 大連、奉天で眼 鏡専門店として、最新流行品を豐富に大連、奉天の本友店同樣眼鏡専門店として、最新流行品を豐富に大連、奉天の本友店同樣眼鏡専門店として、最新流行品を豐富に大連、奉天の本友店同樣眼鏡専門店として、最新流行品を豐富に大連、奉天の本友店同樣眼鏡専門店として、最新流行品を豐富に大連、奉天の本友店同樣眼鏡専門店として、最新流行品を豐富に大連、奉天の本友店同樣眼鏡専門店として、最新流行品を豐富に大連、奉天の本友店同樣眼鏡専門店として、最新流行品を豐富に大連、奉天の本友店同樣眼鏡専門店として格別の御愛顧を蒙つて此の度 大連、奉天で眼鏡専門店として格別の御愛顧を蒙つて此の度 大連、奉天で眼鏡専門店として格別の御愛顧を蒙つて

知識眼科醫院

新京滿鐵病院眼科

御指定

話京

店店三吉

鏡

ર

0

てゐるが然しまだ賣物はかなら六百五十圓の間で取引され傾敗も稍々見直つて六百圓か りの安値に鬢りを少し見合せてゐる、九月に入つてはあまものは何れも五百圓台となつ た關係か市場に出るのが減じ

•

三十人災の東公は電五六六九番示律迄

々にかけては四百圓台を割る 加入者が多数あるのでこの調 加入者が多数あるのでこの調

此のスタイ

*γ*ν

/親切と誠意の受験の人食品の愛の

意願 求ル

術人

來春頃四百圓豫想

込者は馬鹿をみるわけである事となるので今年の思惑申 

大同學院の土俵

電城子の大同學院では九月二 十五日午後一時より同校内に 於て土俵開きを乗ね角力大會 開き

用意は成可御早く當店で既製品――ニナス は洋服界の羅

文 並 一二十八圓以上種々四十五圓以上種々 宮內府御用達

大上洋行洋服部

五、六日野サ 十四日午後六時より八時迄總員市内一週の上 奈京神社に戦捷祈願参拝 まし打者トントン的三振の意気込む 0

十四

アインプ

敵味方大喝采 V

五九七四番

(立)河石(慶)青木(商) 本二百米自由形 A 組、田中(早)鶴岡(立) 川名(商船)谷口(慶)中村(日)武村(明)横山(明)横山(明)横山(平)田坝(慶)外本(日) 小森(慶)日和(慶)湖(文)大 (日)池野(文)、河野(明) (日)池野(文)、河野(明) (日)池野(文)、河野(明) (日)池野(安)、海城(慶)遊佐 (日)池野(安)、海城(慶)遊佐 (日)池野(東)、大本(日) (日)、東井(日)、、篠塚 (中)田畑(慶)森町(日) (中)田畑(慶)遊佐 (中)田畑(慶)遊佐 (中)田畑(慶)遊佐 (中)田畑(慶)遊佐 (中)田畑(慶)遊佐 (中)田畑(慶)遊佐 (中)田畑(慶)遊佐 (中)田畑(慶)遊佐 (中)田畑(慶)遊佐 (中)田畑(慶)

(日)河津(明)上野(商 船)渡部(慶) 船)渡部(慶) 自上(立)谷口(早)清川 (商)松下(立) で組、出田(明)若山(早) 水谷(商)井上(慶)河津(明) (母)投下(立) 本組、山田(明)若山(早) 東室(日)奥藤(明)高畑 (慶)穂口(早)河田(日) (母)投藤(明)筒井(立)秋吉(日) (母)投藤(明)筒井(立)秋吉(日) (母)投藤(明)筒井(立)大本 (早)伊藤(明)筒井(立)大本 (早)伊藤(明)管井(立)大本 (早)田田(日)是久(慶)大本 (早)山田(立)伊藤(明)高畑 (中)山田(立)伊藤(明)高畑(日) (中)山田(立)田中(立)大本 (中)山田(立)田中(立)大本 (中)山田(立)田中(立)古土、 (中)山田(日)高畑(慶)

本

豫想

から降りたところをつかまへた中島鎌瀧兩鸌は見習のバスた中島鎌瀧兩鸌は見習のバス

十五日(土曜) 新京 十五日(土曜) 新京 大、〇〇 ラヂオ體操(滿語) 六、二〇 ラヂオ體操(滿語)

ţ

月に三回の公休が彼女た

九月十六日第三日京圖線飲馬河

は三週間長崎に向ふ途中去る八日 関来の暴風に襲はれ辛じて難 破を免れたが、船体を大破し て命からがら四日目の十二日 長崎に到着した、尚同ヨット は三週間長崎に向ふ途中去る八日 は三週間長崎に向ふ途中去る八日 は三週間長崎に向ふ途中去る八日 は三週間長崎に向ふ途中去る八日 は三週間長崎に向ふ途中去る八日 は三週間長崎に向ふ途中去る八日

点を彩るのも間近で

# 京

へニー へのの

## 少女十二名新採用 -

ると滿面に喜ひを浮べて語る別につらいとは思ひませんこれからは女だつて男と變りなく一定の職について大いに働くことは寧ろ當然と思ひますり……いゝえ自動車には何にも強備智識なんをありません、無論職業婦人生活なんか學校出たばかりですから判りません、たとことのですから判りません、たとことのですから判りません。たりですから判りません。たりですから判りません。たりですから判りません。 すは飲馬河

とうしても車掌は女車掌の 方がお客さんので、よくするし内地あたりでも現にで 積を擧げてゐます滿洲でも 積を擧げてゐます滿洲でも 大連、率天、吉林、營口で は既に女車掌がゐますが、 端電の自動車で滿人の女車 掌を使用するのは新京が最 初です今後は一層サービス の點に重きをおいて、バス が1ルにも徹底的にお客に 親切に優しく接するやうに

七、〇〇 日語講座 近畿喜助 (奉天より)講師 近畿喜助 (本天より)講師 近畿喜助 (東京より) (臨時) 一〇、五九 時報、レコード 「〇、五九 時報、レコード (孫 語) 新交換が設備を換める 高宮盛逸

む込け溶・心質の母

三、〇〇 ニュース (東京より) 三、四〇 短艇 護漕 實况 (東京より) 第十四回大學高等専門學校開東選手權 競漕 マ供の時間 ス、〇〇 子供の時間 マース (鮮語) 五、二五 ニュース (鮮語) エ、〇〇 三ュース (鮮語) エ、〇〇 三ュース (鮮語) コ、〇〇 三ュース (単語)

た無情

の持主應待言語は明朗

日曜京岡線飲馬河に遠征本社後援の下に秋季大會を開催、多数のファンは第二次大會を要望し天狗連の希望により、来る十六日第三日曜に重ねて同好會主催本社後援で第二次秋季大會を開催する事となつた、大命規定は左の通りにつき至急申込まれたい

0

3

"

氏方鹿兒島縣生れ中島し

後援の釣

魚大

會

手具脛ひく的天狗

京日日新聞社 電三二八九番 本野商店 電三二八九番 電二一五一番

三、三〇 田田二、三〇 承知 質問 質問

一新民蔵院より中継一の 武夫中西 武夫中西 武夫中西 武夫の 「東京より」 「東京より」 日六十月九日八月八萬

九

五、三〇 時本國際

●一白の人 萬事輕快に演抄 ●二黒の人 喰遠ひを生じて ・ 一 は変しを生じて ・ 一 は変しを生じて ・ 一 は変しを生じて

六

●三碧の人 幸運廻り來りて 業績は次第に良好となる日 甲と乙と申が吉 ・四線の人 大利を獲んとするは自ら根底を覆すが如し 申と辛と寅が吉 ・六白の人 福連は隣まで米 て逃げ去る如き日辛抱大切 所と辛と丑が吉 ・大白の人 足並覧れて敗走するが如し協力一致が大切 甲と丁と庚が吉 ・入白の人 一季に望みを貫 かんとすれば中途に躓あり 甲と丁と艮が吉

20 千年

ダイヤ街

効 本 陽やけ止 肩のこり む 顔剃り 槚 傷 吉田 傷

●目科業營●



煖房 鐵工 **動車修繕** 新京東三條通十番地 及春鐵工所



『日本の母』 世界無比の





店理代布新

11

包宛

料を發送致しました、未だ御入手祭り併て各位の御盡力に酬ひ度を得て廣く全國愛用家よりの答案を得て廣く全國愛用家よりの答案を得る。 販賣店各位の御協力を

用効其と劑配のルー大力

践って心外の疲劳沈致したる時には智健能を興動せしめ無力を順做 興、奮一齊 及 强 壯一齊 を 配 合 す

尾

帝京 教及美書 教を

配合す

思熱を除き、扶抜難は暇候

音楽を美化し、從つて精神を爽快ならしむ

肝盛にし他骨那と相俟つて肉腰の強壮を計らしむ

東京市日本橋區水天宮前

松 ルトクド 問顧劑製

從つて胃を使至にし且その消化力を亢進し食欲を増進せしめ下痢。

容

膜カタル等に軟膜がは特別形と相協力してこれを治療す

壹

萬

香

なき御店は至急御

ナル化粧料<br />
詰合凾

一個

宛

名

宛

全國藥店各位

從つて空東及は総食物と共に口殿より飲みし来る離職の網別職をい 「中役」財 割を配合す

定

と價

五二人五五三三二百 千 百二百百百百五 百 粒粒粒粒粒粒粒粒粒

中に於て終節するが故に種々の懷紫病を學助す

腸劑を配合す

五百

側腕卷時計

煩

五拾名樣

象嵌

宣德銅

宛

行

庫 鞄 鉢

宛

座蒲

五枚組

宛

简 單で 面白い 尚

のタメ

左の順序でハツキリお書 の餘白へ又は他の用紙へ カメールの効能書

答案の送り方
答案の送り方
を素はすべて楷書で明瞭
を素はすべて楷書で明瞭
が表記へお送り下さい
がおれて、未納は受付ま

其の書き答案用紙と

方

口衛 錠生

有名な

懐中護身蘂の岩は何か?

口より入る病を防ぎ

を爽快にす

談

「函入は函の中の効能書」

き下さい

安藤井筒堂藥品部東京市日本橋區水天宮前

答案の送り

Ξ,

御覽にな

つた

新聞名

送を以て發表に替へます ・1・二・三等迄の當 一・二・三等迄の當 一・二・三等迄の當 一・二・三等之の當 一・二・三等之の當 一、四等

=

壹・貳等賞品の内

發當 締

昭

和十年一月下旬

切

昭和九年十二月末日

0

0

0

0

お望みの品一點づら

四

御住所

所

氏

名

皆様の御便利の爲各地のカナー

ル販賣店

で答案のお取次ぎを致して居ります。

當りも多くなります。一人で幾枚でも出せます、

一枚でも多い程

**琴拾名樣** 

定選御點一品のみ望お内の記上は等貳・等

宛

棹宛

ベビーバール型

オラ級ラ

才

宛